

■ 機 関 紹 介 ■

1. 会 社 概 要

当社は公害が社会問題となっていた1972年に設立し、水質や大気に関する環境分析を開始し、次いで作業環境測定や廃棄物に関連する測定を加え、これらを中心に業務を進めてきた。1987年には製品障害解析や異物分析を開始し、その後もダイオキシン類や環境ホルモン、アスベスト分析、環境アセスメント、土壌調査、放射能測定などその時代の社会的要求に応えるべく新たな業務を展開してきた。また、2013年には医薬品GMPに係る受託試験を開始し、現在その売り上げは当社全体の2割に達する大きな柱になりつつある。従業員数は約100名でその8割が技術職であり、10の部門に分かれ日々業務に取り組んでいる。

2. 沿 革

1972年 (株)群馬環境技研を高崎市問屋町に設立、環境分析を開始
 1973年 本社屋を高崎八幡工業団地内に新築移転
 1976年 濃度に係る計量証明事業登録「環第5号」
 1976年 作業環境測定機関登録「10-1号」
 1979年 騒音レベルに係る計量証明事業登録「環第15号」
 1987年 リサーチセンターを群馬県新田町(現太田市)に開設
 1993年 (株)環境技研に社名変更し、本社を現在地に新築移転
 1994年 振動加速度レベルに係る計量証明事業登録「環第25号」
 1998年 ISO9002登録
 2002年 特定計量証明事業登録「群特第1号」
 2003年 土壌汚染対策法に基づく指定調査機関登録「環2003-3-1125号」
 2003年 臭気測定指定事業所登録「280(04)号」、水道法水質検査機関登録「208号」
 2008年 ISO17025登録(ポリエステル中の重金属)
 2012年 ISO17025登録(食品中の放射能、放射線)
 2013年 薬機法に基づく試験検査機関登録「第178号」
 2016年 リサーチセンターを本社に統合



株式会社環境技研

2019年 くるみんの認定

3. 業務内容

- ①計量証明事業(濃度、音圧レベル、振動加速度レベル)
- ②特定計量証明事業
- ③作業環境測定(鉱物性粉じん、放射性物質、特定化学物質、金属類、有機溶剤)
- ④アスベスト分析調査
- ⑤水道法に基づく水質検査
- ⑥臭気測定
- ⑦環境アセスメント
- ⑧製品原材料分析
- ⑨製品障害解析、異物分析
- ⑩医薬品GMP試験

4. 作業環境測定の実施状況

当社の作業環境測定に関する業務は作業環境グループ(グループ員11名)が担当し、平成30年度の測定対象事業所数は540、延べ単位作業場数は3149であり、内訳としては粉じん13.2%、特化物31.6%、金属類8.6%、有機溶剤38.5%、騒音8.1%であった。そのほか、同グループでは局所排気装置点検や事務所則測定、アスベスト分析、廃棄物焼却施設の気中ダイオキシン類測定なども行っている。近年では建材に係るアスベスト調査関連業務が増加しており、これに対応すべく特定建築物石綿含有建材調査者等の有資格者4名で対応している。

5. おわりに

2019年4月施行の働き方改革関連法の改正により、残業時間の上限規制や有給休暇取得などが義務化された。これを受け、当社では同年8月に社内業務改善のための専門部署を立ち上げ、AIやIoT利用による効率化を目指した業務改革に取り組み始めた。今後も設立以来目指している正確で迅速な調査分析とともに、社員の働く環境を整備し、常に社会から必要とされる企業を目指している。

<http://www.get-c.co.jp/>